

町のできごと

柔道部 大会結果

① 第15回県中学春季大会（4月22日）

【結果】

【個人戦】

55kg級男子：第3位 伊藤啓真（3年）
52kg級女子：第3位 秋山愛音（2年）

② 第27回県スポーツ少年団大会（4月29日）

【結果】

【個人戦】

6年生男子：準優勝 吉川佳志
6年生女子：第3位 秋山母華



中学校柔道部主将 伊藤啓真さんより

僕たち柔道部は「全力柔道」を目標に掲げ、日々の練習に取り組んでいます。
春季大会は新学期最初の大会でした。部員のケガにより女子団体戦は棄権し、男女ともに個人のみの出場になりました。第三位の人がほとんどでしたが、その悔しさをバネに次に活かしたいと思います。
7月には県大会があります。それまでに毎日の練習や合同練習などでも力をつけ、試合でできなかった技を磨き、ベストな状態で挑めるようにしたいです。そして上位入賞し、みんなで四国大会を目指して頑張っていきたいです。今後も応援よろしくをお願いします。



西峯 スギコンテナ苗生産 優秀賞を受賞!

県木材普及推進協会が主催する「高知県造林推進コンクール」において、西峯地区活性化推進委員会のコンテナ苗生産の取組が評価され、優秀賞を受賞しました。このコンクールでは毎年、再造林の推進に寄与する取組を行った個人、団体を表彰しています。
西峯地区活性化推進委員会では平成27年度からスギのコンテナ苗生産を始め、平成29年度には本町内に1万2千本のコンテナ苗を出荷しました。今年度はビニールハウスを増設し、年間4万本の生産体制を整備する計画であり、より多くの皆伐地に苗木を供給することが期待されています。



コンテナ苗：特殊なコンテナ容器を使って育てた根鉢（土）付きの苗木。根つきが良好で、初期成長が早い。
.....

ようこそ！おとよへ♪

今年も国内外から教育旅行の受け入れが始まっています。現在、4月～9月に延べ11校900人以上の生徒受け入れを予定しており、山里の暮らし体験としての民泊、カツオのたたき体験、ラフティング体験を提供しています。
訪れた子どもたちは、大豊町の雄大な自然に驚きつつも「非日常」を友だちと楽しんでいるようです。



第16巻 地域包括支援センター通信

『目付・ミニデイ』

今回は目付集会所で行われているミニデイへお邪魔しました。

◇この活動はいつから、行われていますか。
「平成26年12月から。」

「みんなで集まる場がない、欲しいと話をしていたら、社会福祉協議会（あったかふれあいセンター事業）から『体操を目付でやらんかね』と声を掛けられて、『ええね』となった。ちょうどタイミングが合った。」と北村さん。
「（平成27年の）3月、1年で終わるかと思っていた。続いてよかった。」という声も聞かれました。

◇この活動の楽しみは何ですか。
「なかなか集まることがないので、みんなに会える、来ないかんと思って参加している。」

「年がたって集まる所に行くことが少なくなりました。月1回でも行けることがありがたい。」



◇「80歳を過ぎて体が弱ったことを実感した。刺激をもらって鍛えることが大事だと思い、家でもやっている。背が丸まっていたが、（体操を家でも続けることで）子どもに『背が伸びた』と言われた。」

ミニデイで知ったコグニラダーを続けてやりたいと、自分たちで手作りしたコグニラダーを見せてくださいました。
自分のために、家でも体操を続けることで成果が上がっていることを聞き、続けることの大切さを改めて感じました。



『西川・ミニデイ（西川輪の会）』

よく晴れた日の午後、西川集会所の入口にミニデイの看板が掲げられました。
中を覗くと男性が半分程度と、男性の参加割合が高いのが西川地区のミニデイの特徴ではないでしょうか。

◇この活動はいつから、行われていますか。
「平成28年の6月から」

「落合の公民館で行う老人会の体操に参加していたが、『近くでできないか』と役場に相談し、社会福祉協議会（あったかふれあいセンター事業）へつながり、できるようになっ



た。」と岡本さん。
◇この活動のウリ、楽しみは何ですか。
「みんながいること。」と皆さん。
「電話をしても顔が見えんし、ここに来たらずっと笑いぬぎよる。」音楽に合わせて体操するのが楽しい。
「家におったらネコ相手に話しかけるだけ。」と言う大瀬さん家のネコは、この集いに参加していたこともあるそうです。

体操の後は、認知症予防の「ボケます小唄・ボケない小唄」を歌った後、レクリエーションをしました。歌いながら手を動かすのはなかなか難しく、みんなで大笑いしました。

西川地区のミニデイではレクリエーションで「笑いすぎてお腹が痛い」、目付地区のミニデイでは帰り際に「よお笑るた。」と言われていたのが印象的でした。

